



# 湖翔会

2017



## Contents

1. 会長挨拶
2. 顧問挨拶
3. 主将挨拶
4. 現役部員紹介
5. OB・OGの近況

## 序文

昨年に引き続き、会報を人数分印刷することの負担、および用紙削減による会費の節約のため、硬式庭球部のホームページから会員様それぞれがダウンロードしていただく形での配布となっています。お手数ですが、必要な方は各々で印刷をお願い致します。

皆様のご理解とご協力お願い致します。

また、会報制作においてご協力頂いた皆様にこの場をお借り致しまして、御礼申し上げます。

2017年度会報制作担当 高橋洋和 沼田はるな

## 1. 会長挨拶

滋賀県立大学が開学したのが1995年、テニス部も1年目から発足し、2年目、3年目と活動するにつれ、少しずつ部活らしくなって関西学生テニス連盟に登録できたのを記憶しています。それから22年が経過し、当時誕生した子が大学生となり、テニス部のOB・OG会に参加される年齢になられていることかと思えます。テニスというスポーツは、世界中で楽しまれており競技人口は全スポーツの中で第4位と言われています。一方、日本では、錦織選手をはじめとして世界的に活躍している選手はいますが、少子化の影響もあり競技人口自体は減少しているそうです。大学時代テニスに打込んだOB・OGの皆さんは、十分テニスの魅力をご存知でしょうし、きっとテニスが続けられていることでしょう。私自身も自由にテニスができた大学時代を懐かしく思いつつ、細々とテニスを楽しんでいます。今年も、できるだけ多くのOB・OGの皆さんが集まり、テニスや交流会を通して親睦を深められるようなOB・OG会が開催されることを願っています。

滋賀県立大学硬式庭球部

OB・OG 会会長

吉見 啓

## 2. 顧問挨拶

近頃、日本を湧かせたテニスの話題として「杉田祐一のツアー初優勝」があります。杉田氏は現在 28 歳（錦織氏の 27 歳より 1 歳年上）であり、“遅咲きの大輪”と言われています。2006 年(18 歳)にプロ転向後、頑固でコーチの意見を聞かなかつたりと周囲と衝突を重ね、結果も出せずに「辞めること」も考えたそうです。しかし、年齢を重ね、負けを重ね、経験を重ねることにより「吸収できる自分」に変化することで、今回の優勝に繋がったと本人もコメントしています。私は、この「人の意見を聞ける自分」に変化できることが、人間の一番の成長では無いかと思っております。世間では、「個性」だ「オリジナリティ」だと“個人主義的要素の重要性”を謳っているケース（就活でも同様・・・）を散見しますが、その「自分らしさやオリジナリティ」は突然湧いて出てくるものではなく、長い年月をかけて勉強し、周囲から影響を受け、切磋琢磨しながら次第に生み出されるものだと思っております。日本では古来より、能楽や茶道、歌舞伎の世界において「序破急」ということが言われています。「序」つまり“導入部”では、今までの歴史や伝統などの基礎を先人からの教えを通じて学び、それを元に「破」つまり“新しいことへの挑戦”が始まります。そして、最後は「急」つまり“自分のもの”として時代を急展開するという学びの姿勢を説いたものです。舞楽・能楽のみならず、最初の「序」無くして自分の個性やオリジナリティは確立できないということ示唆するものです。滋賀県立大学テニス部は、今まさにその「序」を学ぶ場であり、これからの長い人生に深みを与える時期だと思っております。今年には既に京滋戦が終了し、2勝7敗という戦績に終わりましたが、今後もリーグ戦の決勝トーナメント進出更には四部昇格を目指して、個々の個性とオリジナリティを発揮すべく日夜精進して欲しいと願っております。最後になりましたが、テニス部 OB・OG 各位のご支援とご鞭撻を、引き続き宜しくお願い申し上げます。

テニス部顧問挨拶 工学部材料科学科・徳満勝久

## 3. 主将挨拶

男子部主将をつとめてさせていただいております3回の猪飼です。

現在男子部は3回生4人、2回生2人、1回生11人の計17人で活動しています。今年の新入生は初心者から中学からの経験者など幅広く入部してくれました。春までは人数が少なく限られたメニューしかすることができませんでしたが、現在では17人全員でリーグ戦に向けて練習しています。またその一方で人数が増えたことにより、部員同士の差を意識した練習を組んだり、団体戦メンバーに悩んだりと部活動の運営の難しさをより痛感しています。

先日行われた京滋戦では2-7と大敗を喫しました。今年、男子部は京滋戦での勝利を一番の目標にして昨年の10月から練習を行ってきましたが、結果的には大きな差をつけられての負けになってしまいました。個人の技術の向上や、ここ数年の課題である拮抗した試合で

勝ちきるなどの課題が露呈した試合でした。普段の練習により緊張感を持って取り組み、リーグ戦で去年よりもいい成績を残せるよう練習を工夫していきたいと思っています。

今年の現役は17人とここ最近ではとても多く、個人のスキルにも差があるのが現状です。そんな中でも練習中、上回生が1回生に、同回生同士でも教えあういい雰囲気が見られます。しかし、人数が多くなった分誰かがやってくれるだろうというような他人任せな空気もあり、緊張感が薄れ練習を初め試合でも進行が上手くいかないこともあり、お互いのモチベーションを下げる要因にもなっていると思います。これらは気づいた上回生が指導して行くことで、緊張感や個人のスキルの向上につなげて行きたいと思っています。

これからのテニス部がOB、OGの先輩方に応援していただけるような団体になるよう、リーグ戦や対抗戦で結果を残し決勝トーナメント進出、4部昇格を達成すべくチーム一丸になって頑張っていきます。

これからも応援よろしくをお願いします。

今期男子部主将 21期生 猪飼大智

女子硬式テニス部の主将を務めさせていただいております田上です。

現在女子部は3回生2人、2回生1人、1回生4人の計7人で活動しています。昨年の9月に先輩方が引退されてから女子部は3人となり、男子部と合同で練習させていただいていましたが、この春4人の新入部員とともに、女子部として本来の体制でスタートを切ることが出来ました。部員の技術レベルは一人一人異なりますが、個々人が自分の課題を把握し、課題克服に向けて努力するとともに、互いに切磋琢磨していきたいと思っています。

今年の6月の京滋戦では、ダブルス1勝1敗、シングルス1勝2敗、計2勝3敗で惜しくも負けてしまい、昨年の先輩方の勝利を引き継ぐことが出来ませんでした。速い球の返球など男子部との練習が活きた場面もあった一方で、相手に巻き返しを許す、競っているところで勝ちきることが出来ないという課題がみえました。また、緊張感からミスをしてしまう場面も見られ、普段の練習の際にもっと緊張感をもって取り組むこと、試合経験を積むことが大切であると感じました。今後は、実践的な練習や校内戦の場をより多く設け、試合経験を積むためにも、他大学との練習試合を今まで以上に積極的に行っていこうと考えています。また、ボレーやチャンスボールをはじめとする練習メニューを見直し、より意味のある練習にできるよう工夫したいと考えています。リーグ戦では、練習の成果をしっかりと発揮し、良い結果を残せるよう、チーム一丸となって頑張りたいと思います。

OB・OGの皆様、これからも応援よろしくお願ひいたします。

今期女子部主将 21期生 田上愛

昨年度の主将を務めさせて頂きました稲本です。引退してからコートに顔を出す機会にはめっきり減りましたが、時折コートに訪れ、熱心に練習に取り組む後輩達の姿を見るととても頼もしく思うと同時に、負けてられないなど私自身の励みにもなっています。

今年度の男子部の話をしますと、春まで部員はたったの6人でしたが、11人もの1年生が入部し、現在は17人で活動しています。部員が多くなると部活の雰囲気は良くなりますが、チームの運営はその分難しくなるというのが常。そんな中、主将の猪飼を中心に3年生がうまくチームをまとめています。

また戦力的な話をしますと、ここ数年の中でもチームの技術的なレベルは極めて高いです。ただし、試合となると中々勝てていないのが現状です。何が自身に足りていないのかをしかと理解し、それを克服するために毎回の練習に励んでいく必要があります。課題は山積していますが、一つずつクリアしてもらいたいです。今後の後輩達の成長・活躍に期待しています。

最後になりましたがOB・OGの皆様、今後も変わらないご声援のほどをよろしくお願い致します。



前男子部主将 20期生 稲本悠一

早いもので去年の夏に引退してから1年が経とうとしています。主将に任命していただいたことは、衝撃的な出来事でした。自分が主将になるとは想像すらせず、ただマイペースにみんなの後ろを歩いてきたので、上手くいかないことがほとんどでした。前主将を始め先輩方には多くのアドバイスをいただき、一から十まで教わり迷惑をかけてしまいました。実際部員からは少し頼りなくみえたかもしれません。しかし、同期も後輩も常に積極的に協力してくれたので、本当に助かる場面が多く、みんなに感謝しています。

現在は代替わりし、3回生の田上が主将を務めています。4回生が引退してから3人という少ない人数のなかでも、気を緩めることなく継続的に練習に取り組んでくれました。4月からは新入部員を4人迎えることができ、団体戦の人数もそろい—安心でした。京滋戦でみつけた課題を克服し、さらにレベルアップしてリーグ戦では良い結果を残してくれると期待しています。私もできる限り練習に顔を出し、サポートしていきたいと思います。

最後になりましたが、これからも滋賀県立大学硬式テニス部を温かい目で見守ってくだ

さい。



前女子部主将 20期生 須川直子

#### 4. 現役生紹介

### 3年男子

#### 猪飼 大智 (主将)

生年月日 / 1996年12月28日

出身 / 滋賀県

出身高校 / 米原高校

テニス歴 / 5年

好きなテニスプレイヤー / ワウリンカ

目標 / リーグ戦個人でも団体でも勝つ

好きな異性のタイプ / 自分よりも身長が低く  
ポニーテールが似合う子



#### 鎌塚 芳彦 (副主将)

生年月日 / 1997年1月24日

出身 / 京都府

出身高校 / 山城高校

テニス歴 / 5年

好きなテニスプレイヤー / ナダル

目標 / リーグ戦で決勝トーナメント進出

好きな異性のタイプ / 顔面偏差値が白石麻衣





## 星野 侑生

生年月日 / 1996年5月11日

出身 / 大阪府茨木市

出身高校 / 春日丘高校

テニス歴 / 5年

好きなテニスプレイヤー / ナダル

目標 / 一瞬一瞬を大切に楽しみながら  
試合や練習をする

好きな異性のタイプ / 笑顔が素敵な人



## 川口 達弥

生年月日 / 1996年9月26日

出身 / 滋賀

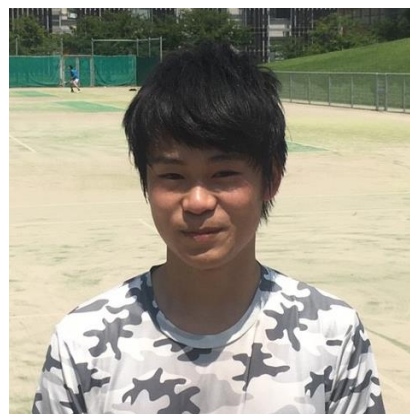
出身高校 / 米原高校

テニス歴 / 5年

好きなテニスプレイヤー / ガスケ

目標 / 自分から簡単にミスをしたくない

好きな異性のタイプ / マイペース



## 2年男子

## 山本 真誠

生年月日 / 1996年6月18日

出身 / 大阪

出身高校 / 鳳高校

テニス歴 / 軟式2年半 硬式3年

好きなテニスプレイヤー / ロジャー・フェデラー

目標 / 満足のいく成績を残すこと

好きな異性のタイプ / かわいい感じ



## 山根 啓太郎

生年月日 / 1997年3月22日

出身 / 大阪

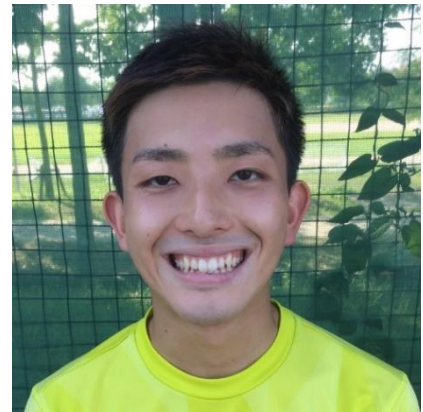
出身高校 / 大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

テニス歴 / 5年

好きなテニスプレイヤー / マレー

目標 / 打倒山本

好きな異性のタイプ / 彼女にするなら  
中の上か上の下



## 1年男子

## 田中 裕也

生年月日 / 1999年1月10日

出身 / 鳥取県

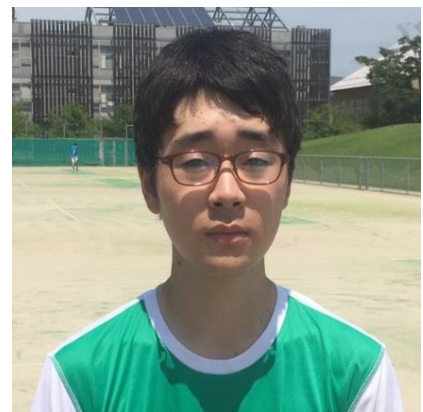
出身高校 / 米子西高校

テニス歴 / 2カ月

好きなテニスプレイヤー / 錦織圭

目標 / たとえ相手が強くとも粘り強く  
打ち返せるようにする

好きな異性のタイプ / 清楚



## 畑川 智彦

生年月日 / 1998年2月18日

出身 / 愛知県

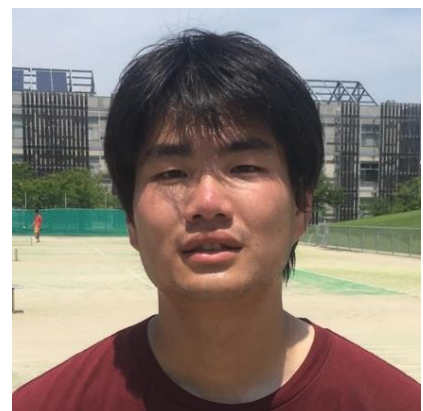
出身高校 / 愛知県立時習館高校

テニス歴 / 軟式3年 硬式4年

好きなテニスプレイヤー / ジョコビッチ

目標 / リーグ戦で4部に近づくこと

好きな異性のタイプ / 見ていて面白い人





## 佐々木 謙昌

生年月日 / 1998年8月8日

出身 / 岐阜

出身高校 / 大垣東高校

テニス歴 / 2ヶ月半

好きなテニスプレイヤー / ジョコビッチ

目標 / ラリーを続けるプレイが

出来るようになること

好きな異性のタイプ / 楽しく話せてかわいい人



## 安田 蓮

生年月日 / 1998年1月12日

出身 / 京都

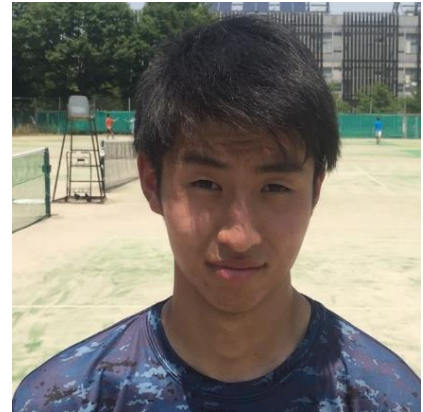
出身高校 / 奈良女子大学附属中等教育学校

テニス歴 / 12年

好きなテニスプレイヤー / 土居美咲

目標 / リーグ戦全勝

好きな異性のタイプ / 怒ったら仕草がかわいい子



## 内田 真裕人

生年月日 / 1998年5月9日

出身 / 京都

出身高校 / 桃山高校

テニス歴 / 3年

好きなテニスプレイヤー / ガエル・モンフィース

目標 / 脱・5部リーグ

好きな異性のタイプ / 性格がいい

フィーリングが合う人



## 高岡 宗平

生年月日 / 1997年6月18日

出身 / 滋賀県

出身高校 / 石山高校

テニス歴 / 2ヶ月

好きなテニスプレイヤー / モンフィス

目標 / 大会で勝てるようになること

好きな異性のタイプ / よく笑う人



## 酒向 大作

生年月日 / 1997年11月12日

出身 / 岐阜

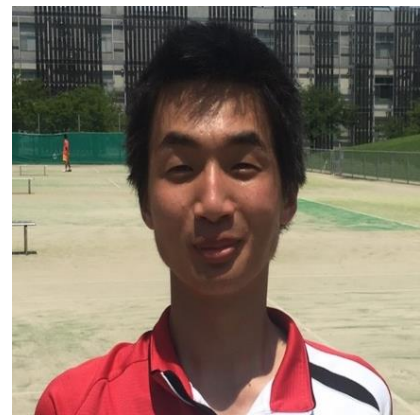
出身高校 / 多治見高校

テニス歴 / 6年

好きなテニスプレイヤー / フェデラー

目標 / 試合で多く勝つ

好きな異性のタイプ / ルックスがいい人



## 加藤 翔

生年月日 / 1998年5月10日

出身 / 京都府長岡京市

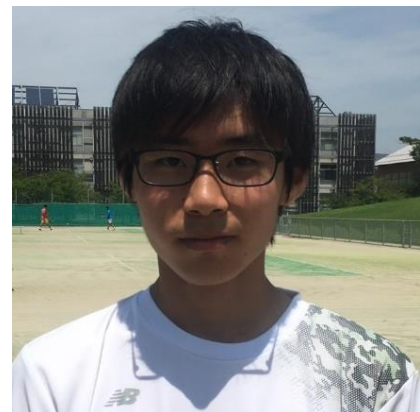
出身高校 / 京都府立桃山高等学校

テニス歴 / 4年

好きなテニスプレイヤー / マッケンロー

目標 / とりあえず一勝する

好きな異性のタイプ / 元気で積極性のある性格で、  
顔はみんなが可愛いと思える  
くらいのホモ・サピエンス



## 高橋 慧

生年月日 / 1998年5月18日

出身 / 山形

出身高校 / 米沢中央

テニス歴 / 2ヶ月

好きなテニスプレイヤー / 錦織圭

目標 / 早くサーブとバックを出来るように  
練習頑張ります

好きな異性のタイプ / 頭ぼんぼんに適した  
サイズの子



## 田中 裕貴

生年月日 / 1998年6月3日

出身 / 滋賀

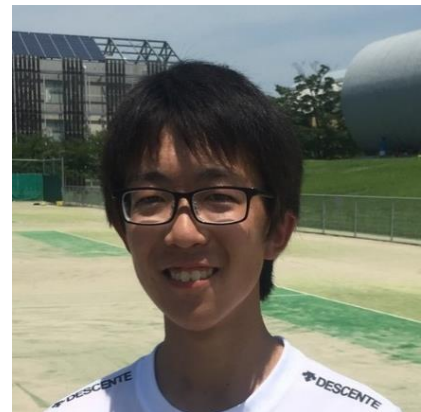
出身高校 / 米原

テニス歴 / 3年

好きなテニスプレイヤー / フェデラー

目標 / 力強いフォアと安定したバックを  
打てるようになる

好きな異性のタイプ / 佐々木希みたいな人



## 大羽 輝

生年月日 / 1998年5月21日

出身 / 愛知県

出身高校 / 豊丘高校

テニス歴 / 軟式3年 硬式3年

好きなテニスプレイヤー / フェデラー

目標 / 公式戦初戦突破

好きな異性のタイプ / ショートで楽しい子



## 3年女子

### 田上愛（主将）

生年月日 / 1996年4月13日  
出身 / 京都府  
出身高校 / 京都市立西京高校  
テニス歴 / 8年  
好きなテニスプレイヤー / 錦織圭  
目標 / 試合で勝つ  
好きな異性のタイプ / よく笑う包容力のある人



### 岡村美紀（副主将）

生年月日 / 1996年8月26日  
出身 / 京都府  
出身高校 / 京都橘高校  
テニス歴 / 3年  
好きなテニスプレイヤー / 錦織圭  
目標 / 試合で勝つ  
好きな異性のタイプ / 自分より賢くて常識のある人



## 2年女子

### 岡村夏菜

生年月日 / 1997年7月30日  
出身 / 岡山県  
出身高校 / 岡山芳泉高校  
テニス歴 / 軟式2年 硬式4年  
好きな選手 / キャロライン ウォズニアッキ  
目標 / 強くなる。負けない諦めない頑張る  
好きな異性のタイプ / 背が高くて運動できて  
物知りで頼れる歳下じゃない人





## 1年女子

### 竹中真由

生年月日 / 1998年5月8日  
出身 / 岐阜県  
出身高校 / 大垣北高校  
テニス歴 / 軟式6年 硬式2年  
好きなテニスプレイヤー / ジョコビッチ  
目標 / 白く強い人  
好きな異性のタイプ / しゃべる人



### 清水ひなの

生年月日 / 1998年7月3日  
出身 / 滋賀県  
出身高校 / 光泉高校  
テニス歴 / 3年  
好きな選手 / ワウリンカ  
目標 / ダブルスでボレーミスをなくす  
好きな異性のタイプ / 何事にも一生懸命な人



### 橋本留奈

生年月日 / 1998年7月16日  
出身 / 京都府  
出身高校 / 嵯峨野高校  
テニス歴 / 3年  
好きなテニスプレイヤー / 錦織圭  
目標 / 試合でスマッシュを決めたい  
好きな異性のタイプ / 爽やかな人





## 川端美月

生年月日 / 1998年9月22日

出身 / 大阪府

出身高校 / 千里高校

テニス歴 / 軟式2年

好きなテニスプレイヤー / 錦織圭

目標 / もっと練習して硬式に慣れる

好きな異性のタイプ / 優しくて面白い人



## 5. OB・OGの近況

今回、6期生の八木崇典さん、11期生の小林一星さんから、近況に加え私たち学生に向けてのメッセージをいただきました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。この機会に大学での部活動の思い出や、現在のテニスに対する心境などを振り返ってみてはいかがでしょうか。

### ・6期生 八木崇典さん

先輩方、同期の皆さん、私を知る数少ない後輩の皆さん、お久しぶりです。そして私のことを全く知らない後輩の皆様、初めまして。6期生の八木崇典でございます。

私は現役時代、主将を任されておりましたが、私の同期男子部員は私を含め2名しかおらず、実力・カリスマ性に関係なく強制的に主将か副主将をやらされるという世代（世間的に言えばハズレ年！？）でした。ですが、唯一の同期である永田君とは、本当に楽しく4年間を支え合えましたし（カラスにパンを盗まれ必死で追いかける永田の後ろ姿は一生忘れません）、また優しくも（特にお酒に）厳しい先輩方、伝説の人物“和尚”をはじめ実力・カリスマ性（と生意気さ）を兼ね備えた後輩たち、そして個性的な（・・・もちろんみんな抜群にかわいい）女子部員の皆さんにも支えられ充実した活動ができました。この場を借りて、十数年越しではありますが御礼申し上げます。

大学を卒業した後、愛知県の企業に就職し、今も会社のテニス部でテニスを続けています。仕事や家庭に追われ、年々テニスが下手クソ（むしろクソクソ）になっていくのを実感していますが、それでも楽しく活動を続けています。何よりテニスを通じて会社やその他の団体の方々によく出会うことができ、今の私の人生を支えてくれる人物はテニスをしていたからこそ出会えた人達がほとんどです（奥さんもテニスが出会いのきっかけでした）。以前、

中国に2か月いた時も、テニスを通じて現地の方と仲良くなれたり、グローバルな活動にも繋がっています。(目指せグローバル人材!・・・意味が違う!?)

卒業以来、後輩たちを何にもサポートしていない私が、後輩たちへメッセージを送るのは大変おこがましいと思いますが、2言だけ。

“現役時代は悔いのないように一生懸命テニスに打ち込んでください”

“テニスを一生続けてください” ← 自分の目標でもある!

試合で結果が残せなくてもいいです。真剣にテニスに取り組んだ事実はきっと社会に出たときの地力になります。そしてテニスは大切な仲間を作ってくれます。現役時代は先輩や同期や後輩たち、そしてこれからはもっと広い世界においてきっと自分を支えてくれる人たちに出会うきっかけを作ってくれます。

最後に、これからも県大テニス部の活動が大いに盛り上がる事を心から祈っております。現役生の皆さん、がんばってください!!



#### ・11期生 小林一星さん

11期生の小林一星と申します。大学院を卒業後は分析機器メーカーで開発の仕事をしており、今年で7年目となりました。入社3年目からの2年間は中央省庁に出向して環境行政の仕事に従事しておりました。行政職という畑違いの職種だったため慣れるまでは大変でしたが、もともと環境分野に関心があったため、やりがいを感じられる仕事内容でした。私生活では4歳の娘と2歳の息子のお陰で、忙しくも楽しい日々を送っております。さて、ここで社会人になってからの充実したテニス生活について近況報告したいところですが、最近はラケットを握る機会がめっきり減り、残念ながら報告することができません。代わりと言ってはなんですが、私の甘酸っぱい県大テニス部時代を真面目に振り返りつつ(ほとんどが酸っぱい記憶)、その反省をもとに、現役の皆さまの参考として頂きたいと思います。

ご多忙のOB・OGの皆さまにおかれましては、以下読み飛ばして頂ければと思います。

大切な学生生活をテニスに費やすのであれば、そこから多くのことを学び、社会人生活に役立ててほしいと思います。テニスを通して学べることは様々あると思いますが、現役の皆さんには是非、「仮説を立て検証する力」を磨いて頂きたいと思います。それぞれ目標を持って練習に励んでいると思いますが、いまやっている練習を継続すれば、本当に目標達成できますか？自信がある方はその根拠を説明できるでしょうか。

ここで私の切ない現役時代を振り返りたいと思います。当時の私は、”学連公式戦の本選に出場する”ことを目標にしていました。とても幸運なことに、格上のテニスコーチと週2～6日の頻度で早朝練習／試合をすることができました。当時の人気競走馬のハルウララをご存じでしょうか。連戦連敗があまりにも続いたため、かえって人気を呼びブームを巻き起こしたあのハルウララの連敗記録は、なんと113連敗ですが、私は現役のあいだ早朝試合を継続し、ハルウララを裕に超える連敗記録を樹立いたしました（人気もブームも巻き起こりませんでした）。連敗したとはいえ練習量はしっかり確保していたため、実力は着実に向上。最後は練習相手のコーチに勝つこともできました。それでも残念ながら本選出場することはできませんでした。本選出場選手とのストロークでの打ち合いで接戦に持ち込むことはできましたが、彼らに打ち勝つ攻撃力が無かったため、競り負けていました。もしも当時の私が、自己分析をして攻撃力アップに課題を絞り、課題を克服するための効果的な攻撃手段を考え、その手段を身に着けるための練習方法・筋トレメニューについて深く考えていれば、本選出場も達成可能だったかもしれません。当時の私はそういった仮説を持つことなく、場当たり的な練習をしていたと、今となって反省しています。

現役の皆さんには、いま採用している練習に効果があるのか、よくよく見極めてほしいと思います。またまた私の現役時代の経験談ですが、”意図のある練習メニューこそ効果が現われる”ことを身に染みて感じる出来事がありました。当時のテニス部キャプテンの決断により、スポーツにとっても詳しい工学部の先生をテニス部のコーチとして招くこととなりました。先生は私達の実力をよく分析したうえで、いくつかのメニューをその意図とあわせてご提案・ご説明下さいました。しかし、どれもこれも見聞きしたことのない独創的な練習メニューばかりで、さらに先生がプロのテニスコーチでないこともあいまって、正直なところ私も他のメンバーもやや疑心案義でした。しかし、練習を継続しているうちに、「意図するところにボールが飛ぶようになる」、「ボールの威力が増す」など、意図した効果が出つつあると身をもって感じることができました。チームの実力が底上げされたことで団体選の勝率も上がり、もう少しで4部昇格というところまでいきました（と記憶しております）。

社会人になると様々な場面で問題解決を求められますが、「何となく良さそうなので、とりあえずやってみる」という姿勢では、失敗する確率が高いうえに、なぜ失敗したかの原因把握も疎かになりがちで次につながりません。時間をかけてテニスに取り組めるのは今しか無いですし、非常によい訓練になると思いますので、是非、事前に仮説を立ててから実行に移すトレーニングをしてください。最後になりましたが、現役の皆さんが学生テニス生活

を謳歌し、そこでの学びを活かし社会人としても御活躍されることを祈っております。



**ご覧いただきありがとうございました!**

**今年も OB 会にて OB・OG 様方に会えるのを一同楽しみにしております!!**